

II 浦佐地域づくり協議会通常総審議議資料

2023 年度 浦佐地域づくり協議会活動計画 (案)



はじめに

JA 浦佐支店の移転発表(2019 年)以来取り組みを進めてきました会館での“新しい拠点づくり”として、ようやく「新びしゃもん市」と「西山 Cafe」をオープンする運びとなりました。運営には一般社団法人「浦佐まちづくり機構」を設立し、協議会活動と併せ地域のより良い暮らしと活性化を目指します。また、浦佐西山地域の“都市計画変更”に向けた取り組みにも大きな進展があり、年度中の変更決定が見えてきたように思えます。

本日提起します「活動計画」は協議会としての活動全体の方向性を示し、それらを基本に個々の取り組みを進めようとするものです。皆様のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

1 2023 年度 浦佐地域づくり協議会活動計画について

基本的な活動方針では、これまでの実績と活動の方向性をベースに継続し、地域や行政・学校などと連携を深めます。また地域課題への取り組みへも積極的に参加するなか、より活力ある地域を目指したいと考えています。

1) 地域活動拠点事業について (浦佐地区センター)

浦佐地域の地区センターである「雪国おくにじまん会館」の管理運営を行っています。開館は休日等を除く平日の午前 9 時から午後 5 時までとし、地域住民の利用を高めたいと考えています。

また、老朽化が進む施設の修繕工事等継続して進め、将来的な建て替えを目指した活動を進めます。

2) 地域活性化支援事業 (地域づくり協議会)

・ 基礎事業

地域活性化事業のもう一つの柱として「基礎事業」があり、主に道路等の補修・改善など生活基盤に関係したハード事業整備として行う事業です。

今年度も引き続き安全・安心なための小さな公共事業などを進める一方、環境や景観形成への取り組みを進めます。また外灯など LED 化、地区センターの補修、集落・行政区名などの看板設置を引き続き進め、各種災害等についても市役所・行政区と連携するなかで対応していきます。

集落要望と市建設課等の関係、また多面的事業とも連携した取り組みを進め、効果的・効率的な事業を進めたいと考えます。また実施にあたっては、集落地域で発生する小規模な災害などの対応、行政区からの要望等勘案しながら進めて行きたいと思います。

・ 提案事業

多くのイベント事業がこの間“コロナ”による自粛・停滞などしてきましたが、ようやく“ウィズコロナ・アフターコ

コロナの局面に入ってきたことから、私たちの地域でのイベント・コミュニティ醸成事業など感染対策に注意しながら活動を再開したいと考えます。

さて、地域づくり協議会が行う地域活性化事業の一つの柱として「提案事業」がありますが、大規模なイベント等については引き続き注意深く事業を進め、状況に合わせて地域の活性化事業、また地域コミュニティの醸成活動や各種社会活動、景観運動、そして「小さな観光」並びに広報活動などの再開と発展的な継続を目指します。

南魚沼市からの別途補助を受けた「フットパス事業」、また新たな拠点施設としてオープンした会館1階店舗の利活用など、“浦まち機構”と連携した取り組みも含め事業を進めていきます。

また、引き続き「料飲店マップ」、協議会ホームページ・ブログ等を活用した情報提供を進めていきます。

3) 行政区・集落要望の取り纏めについて（各行政区）

各種要望事項は行政区などで取り纏め、6月下旬頃を目途に地域づくり協議会へ提出（2部）をお願いします。要望書は所定の様式を利用し、状況を示す写真等添付をお願い致します。尚、継続要望などについては「前年度の回答」など検討しながら、効果的な要望書作りが必要と思われるので、必要がありましたら協議会へご相談願います。（書式は協議会・HP内にあります）

要望書は協議会で集約し、大和市民センター経由で市役所へ送付します。市では内容に応じ各課、また必要に応じて国・県への要望として活用し、市で対応すべき案件については“回答書”等により処理方針について各行政区へ返答する予定です。

一方、地域づくり協議会で対応可能な案件について、関係区長、役員会で協議しながら十分な額とは言えませんが「基礎事業予算」等で対応したいと考えています。

また、公共事業や集落事業など相談事等ございましたら、協議会事務室まで連絡をお願いします。

4) 各種プロジェクト事業・関連事業について(以下、協議会が主催・関係する事業)

- びしゃもん通り賑わい事業の継続 実行委員会による運営 6月～11月（予定）

第4日曜を基本に（6・9・10月に開催）の日中に開催する「小さなお祭り」です。例年5月からの開催予定でしたが、今年大きなイベント事業と重なることから今年は中止とします。

以降の日程については例年通りの開催予定としたいと思います。



- フットパス基本コース「旧三国街道コース」に引き続き、旧市街地コースなどの開設をしました



地域の地形と景観、文化を生かした「小さな観光」の推進で地域の活性化を目指したい。

また、「農村ミュージアムコース」「浦佐西山コース」のオープンに向けた取り組みを進めます。

- 夕涼み生ビール&鮎まつり の開催予定は 7 月第 4 週の日曜 23 日となっていますが、スタッフの高齢化と人手不足などもあって開催規模・内容等実行委員会で検討します。
- 八色の森健康ウォーキング大会（協働事業）
9 月 23 日（秋分の日）の開催を予定します。
- 第 15 回「地域合同の賽の神祭り」の開催
1 月 8 日（成人の日）



5) 多面的機能支払交付金事業（浦佐地域広域協定）

5 年単位の 2 期目となる「多面的機能支払事業」についても、引き続き前期同様の体制により事業実施を予定します。事業は“農振地域”及び一定の周辺地域も含め、住民と農家・耕作者に対し農地の維持と施設の保全管理等に係る交付金事業で、地域 JA と土地改良区、約 200ha 280 名の農家などで組織する「浦佐地域広域協定」によって事業が進められます。

事務局は浦佐地域づくり協議会(事務局)が引き続き引き受け、2023 年度も事業費は 1,300 万円程度が予想されるなか、協定会議井口会長のもと 5 組織で事業を進めてまいります。

6) 雪国おくにじまん会館 1 階の活用について



2/23 新法人の設立総会を開催

ワークショップの開催と跡地の利活用プランの作成、南魚沼市との協議、また新たな交流拠点計画など提起しながら進めた新しい拠点化事業も「新びしゃもん市」と「西山 Cafe」を開店させることができました。

運営は新設法人の「浦佐まちづくり機構(一社法人)」となりますが、当面の事務局として協議会事務局が日常の運営を行いながら、協議会と一体となった活動をしていきたいと考えています。お茶のみ場”として、或いは観光者も含む交流拠点としての「西山亭」の開設を目指したいと思います。

「雪国おくにじまん会館」が今まで以上に“地域活動の拠点”としての機能を充実させることにより、新たな福祉と防災拠点、また交流拠点など・・・将来的には公共施設の再整理に向けた取り組みを進めます。



7) その他、協力・支援事業について（地域づくり協議会）

- 南魚沼グルメマラソン 5 月 28 日（第 4 日曜）開催 八色の森公園発着（以降の開催日未定）
- 第 37 回 耐久山岳マラソン・健康歩こう大会 9 月 3 日（第 1 日曜）
- 第 10 回 南魚沼グルメライド 10 月 1 日（日曜）
- その他地域活動
 - ・ 西山地域の「都市計画」変更を支援し、地域の将来計画についても積極的な関わりを持ちたい。



- ・「川まち計画」の推進（魚野川高水敷きの公園化計画）
- ・「フットパスによる小さな観光」構想の推進（五箇～浦佐西山地域） フットパスイベントの実施
- ・八色の森公園周辺整備（ウォーキングロード、休憩施設、公衆トイレ、修景・景観対策）
- ・毘沙門通りの活性化に向けた取り組み推進。
- ・他地域との連携を図り、景観に配慮した地域づくりを進めたい。



「川まち計画」でミニ公園化を！



「観察小川」の再設置現場打合せ



活性化イベントとしても期待される
南魚沼グルメマラソン



浦佐の都市計画見直しについて住民説明会を開催

8) 新たな交流拠点の業務も含め事務用車両の配置を行いました

業務の拡大から地区外へ出掛ける機会も多くなっていることから、事務・業務用車両として「軽自動車」1台の導入(リース契約)をしました。連絡などの一般事務、また人員輸送と業務用品の運搬、市内外への出張対応・・・など毎月 500 から 800 km程度の利用を想定しています。(スズキスペース)

2 & 3 予算計画について

資料 8・9 による

収入は南魚沼市からの交付金で賄われ、拠点支援事業では 5 万円増加、活性化支援事業では前年同規模の収入が見込まれ、繰越金と合わせた事業実施を予定します。

また、カラーコピー機、催事テント・机・折畳椅子、PA 機器、除雪機、草・芝刈り機など協議会等で使用するほか、行政区などへの貸し出しも行うなかで備品・設備の有効利用を図ります。

活性化事業では、各種補助金・事業など安定した取り組みがなされてきましたが、今年度も“コロナ”対応により執行状況に変更はありますが、引き続き効率的な運営を図りたいと思います。



ようやく「日常」が戻りつつある
【小さな祭り】



営業ベースでの
フットパスツアーが始まる



水路と水田が埋まり
緊急復旧工事を実施

